

## 勝山市芳野 (法恩寺山) におけるミズスマシの記録

大宮正太郎\*1

要旨：筆者は 2017 年 5 月 27 日に勝山市芳野 (法恩寺山) でミズスマシを 4 頭採集した。

キーワード：昆虫, コウチュウ目, ミズスマシ科

Shotaro OMIYA\*1. 2021. A record of *Gyrinus japonicus* Sharp in Mt. Houonji, Yoshino, Katsuyama-shi, Fukui prefecture, Japan. *Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center)* 24:31-32.

*Gyrinus japonicus* Sharp was collected in Mt. Houonji, Yoshino, Katsuyama-shi, Fukui Prefecture, Japan, on May 27<sup>th</sup>, 2017.

**Key words:** Insect, Coleoptera, Dytiscidae

ミズスマシ *Gyrinus japonicus* Sharp (以下、「本種」) は、コウチュウ目ミズスマシ科 (Coleoptera: Gyrinidae) に属する水生昆虫で、成虫は止水域や緩流域の水面を集団で泳ぎ回り、水面に落ちてきた昆虫などを捕食する (図 1, 図 2)。国外では朝鮮半島, 中国 (北部), ロシア極東部, 国内では北海道 (?), 本州, 四国, 九州に分布する (中島ほか 2020)。平地から山地の池沼や水田, 河川の淀みに生息するとされるが、近年の生息状況の変化により、2020 年版環境省レッドリストでは「絶滅危惧Ⅱ類 (VU)」とされている (環境省 2020)。

福井県においては、本種は越前町, 坂井市, 越前市, あわら市, 勝山市, 大野市, 福井市で確認されているが、存続基盤への圧力は強いとして「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」(福井県レッドデータブック) では「県域準絶滅危惧」とされている (福井県安全環境部自然環境課編 2016)。福井県の隣接府県のレッドデータブックにおいては、石川県では「絶滅危惧Ⅱ類」(石川県野生動物保護対策調査会 2020)、滋賀県では「希少種」(滋賀県生きもの総合調査委員会編 2016)、京都府では「絶滅危惧種」(京都府自然環境保全課編 2015) とされており、いずれの地域でも今後の環境変化によって生息が危ぶまれる種とされている。なお、岐阜県では掲載はない (岐阜県 2010)。

本種が生息するような水域は道路整備や開発工事の影響で容易に失われる場合がある他、農薬等の流入により生存が脅かされる可能性があるため、その生息状況について正しく把握しておく必要がある。

筆者は今回、本種を勝山市芳野 (法恩寺山) で採集したので次のとおり報告する。

4 exs., 福井県勝山市芳野 (法恩寺山),

2017 年 5 月 27 日, 筆者採集・筆者保管。

採集地では採集した個体以外にも、数多くの個体が水面を群れながら回遊していた。採集地は林道沿いの開放的な小水域で、一部に浮葉性の水生植物であるヒルムシロ *Potamogeton distinctus* A. Bennett が見られた (図 3)。このような小水域は採集地周辺でいくつも見られるため、それらの場所でも本種や他のミズスマシ科が生育していると考えられる。

福井県に分布するミズスマシ科は本種他に、オオミズスマシ *Dineutus orientalis* (Möbber), コミズスマシ *Gyrinus curtus* Motschulsky, ヒメミズスマシ *Gyrinus gestroi* Régimbart, コオナガミズスマシ *Orectochilus punctipennis* Sharp, オナガミズスマシ *Orectochilus regimbarti regimbarti* Sharp が生息するが (福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会編 1998)、いずれもこれまでの記録数は少なく、本種も含めミズスマシ科については今後もその生息状況を注視する必要がある。

## 引用文献

- 福井県安全環境部自然環境課(編). 2016. 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.
- 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会(編). 1998. 福井県昆虫目録 第 2 版. 福井県県民生活部自然

\* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: s-oomiya-ov@pref.fukui.lg.jp

1 福井県自然保護センター 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2  
Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

保護課, 福井.

岐阜県, 2010. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-. <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4261.html> (参照日 2020年12月20日).

石川県野生動物保護対策調査会, 2020. 石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020<動物編>. 石川県生活環境部自然環境課, 金沢.

環境省, 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表につ

いて. <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照日 2020年12月20日).

京都府自然環境保全課(編), 2015. 京都府レッドデータブック 2015 第1巻:野生動物編. 京都府自然環境保全課, 京都.

中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之.

2020. 日本の水生昆虫. 文一総合出版, 東京.

滋賀県生きもの総合調査委員会(編), 2016. 滋賀県で大切にすべき野生生物:滋賀県レッドデータブック 2015年版. 滋賀県自然環境保全課, 大津.



図1. 水面を泳ぐミズスマシ (勝山市芳野[法恩寺山], 2017年5月27日, 筆者撮影)



図2. ミズスマシ (勝山市芳野[法恩寺山], 2017年5月27日, 筆者採集・筆者保管)



図3. 小水域の環境 (勝山市芳野[法恩寺山], 2017年5月27日, 筆者撮影)